

# 令和5年度 新庄村立新庄小学校 学校評価(自己・学校関係者)評価書

評価 A：期待以上 【目標を達成している】  
 B：ほぼ期待通り 【おおむね目標を達成している】  
 C：やや期待を下回る 【あまり目標を達成できていない】  
 D：改善を要する 【目標を達成できていない】

自己評価			学校関係者評価		
項目	評価	分析・改善の方策等	項目	評価	自己評価に対する意見等
教育全般	B	<p>児童は夢や希望をもってがんばり、友だちと協力して学校生活を過ごしている。そして、学校での出来事について家で話をしており、保護者も児童の話をよく聞いている。また、学校からの便り等で学校の教育方針や様子をよく伝えていて受け止めている。今後も、児童、保護者とのコミュニケーションを密に行い、児童が安心して通うことができる学校、保護者が安心して子どもを通わせる学校であるように努めていく。</p> <p>「学校は楽しい。」と回答した児童、「我が子は、学校へ行くのが楽しいと言っている。」と回答した保護者の両者が、昨年度より肯定的回答が減少した。児童の気持ちに寄り添い、小さな変化も見逃さず対応するように全教職員で共通理解を図り、実践していきたい。</p>	教育全般	B	<p>ほぼ期待通りである。今後は「学校は楽しい。」に対して否定的回答が増えないようにしてほしい。</p>
授業改善	B	<p>9割以上の児童が「授業は、分かりやすく楽しい。」と回答しており、「授業で、先生や友達の話をよく聞いている。」という肯定的回答の割合も高い。児童は学習に対して主体的に取り組んでいる一方で、自分の考えや意見を発表したり、ペアやグループでの話し合いにはやや消極的である。発信力を身に付けさせるために、授業の中で意図的に話し合う場の設定や児童が話したいと意欲的に取り組むことができるテーマを設定することで授業改善を図りたい。</p> <p>保護者は「学校は、分かりやすい授業になるように取り組んでいる。」という設問に対し100%肯定的回答をしている。しかし「我が子は、学習内容を理解している。」という設問に対しては肯定的回答が昨年度より微減したので、個別最適な学びとなるよう児童一人一人にきめ細やかな指導を心がけたい。</p>	学習指導	B	<p>実際に授業を参観すると、子ども達は、しっかりと発表していた。低学年は、相手を意識しながら聞く姿勢も身につけていて良かった。その姿勢を今後も続けてほしい。</p>
学習評価	A	<p>肯定的回答が100%であり、適切であると理解されている。今後も「評価と指導の一体化」を心がけ、保護者に分かりやすく伝えていく。</p>			<p>「授業で、自分の考えや意見を発表している。」について子ども達の3割近くが否定的な回答をしている。子ども達に発表させる機会をもっと設けてほしい。</p>
家庭学習の充実	B	<p>昨年度と比較し、改善された。特に児童の設問である「家や公民館などで宿題、自主学習、読書に自分から進んで取り組んでいる」「10分×学年+10分の勉強を、家や公民館などでしている」では昨年度と比較し「Aそう思う」の回答が10%以上増えた。家庭学習の習慣が定着しつつあるので、授業内容と家庭学習がリンクするように宿題の内容について改善したい。</p>			<p>図画工作の作品の色づかいが明るく、子ども達の心が落ち着いていると感じた。</p>
体験的学習	A	<p>「ふるさと新庄学」では、4-3-2制で活動している。地域を中心とした体験的な学習を行うことで、本学園が目指す課題発見力、規律性、発信力・傾聴力、実行力という資質・能力をこれからも育んでいきたい。</p>			
特別活動	A	<p>昨年度に引き続き保護者から高評価である。今後も「小中合同のよさ」を児童がより実感できるように、活動の意義を丁寧に説明しながら進めていきたい。</p>			
規律・生活習慣	B	<p>以前からの課題である「よい姿勢で学習する」の肯定的回答がさらに減少した。児童は姿勢に気をつけて学習していないことが判明したので、授業中は合言葉である「お腹はグー・足はベタン・背筋はピン」を意識した指導を行う。</p>	生徒指導	B	<p>人権参観日の講演会において、感想を発表する子どもの声が小さく、聞こえなかった。日頃から大きな声で発表するように指導してほしい。</p>
共感的な集団作り	B	<p>「困った時、友だちや先生や家族など相談できる人」がおり、「間違いに気づいた時、素直に謝ることができる。」という児童が多い。これからは学校生活の中で困った時にはSOSを発信したり素直に自分の非を認めたりできる心を道徳の時間はもとより、様々な場面で育むよう心がけたい。</p>			<p>「よい姿勢で学習する」に対して半数近くが否定的な回答ということは、子ども達は自分の姿勢がよくないと自覚しているととらえたい。頬杖をついて学習している児童はいなかったが、大きくなるにつれ姿勢が前かがみになる傾向にあると感じた。折にふれて姿勢のことも話題にし、来年度は児童が自覚して肯定的回答が増えるようになってほしい。</p>
教育相談	A	<p>教育相談を定期的に行うとともに、日々の学校生活においても児童のサインを見逃さないようにしているので、児童も保護者も90%以上が「先生は、自分の気持ちや考えをよく聞いてくれている。」と肯定的回答している。今後も、日頃から子どもの様子をよく見て小さなサインを見逃さないようにする。</p>			<p>児童からのSOSのサインを見逃さないように、よろしくお願ひしたい。</p>
いじめ防止	B	<p>教育相談を定期的に行うとともに、日々の学校生活においても児童のサインを見逃さないようにしているので、児童は「学校は、いじめが起きにくくなる取り組みをしている(肯定的回答94%)」「学校は、いじめなどの問題が起きた時、すぐ対応している(同97%)」と感じている。一方で、保護者からの肯定的回答は大きく減少しているため、学校からいじめへの取り組みについて丁寧な説明を心がけたい。</p>			
保健・安全指導	B	<p>「運動やスポーツをすることが好きだ。」「体育の授業は楽しい。」という肯定的回答をした児童が、昨年より減少した。校内水泳記録会やマラソン大会など、引き続き運動する機会を増やし、運動する楽しさを体験できるように努めたい。</p> <p>「少しぐらい苦手なことでも、がんばることがができる。」児童が昨年度よりさらに増え、肯定的回答が97%であった。今後も継続して「たくましさ」を育むことを意識しながら指導していく。</p>	保健・安全指導	B	<p>子ども達の日頃の様子を見ていると運動しているように感じている。</p> <p>子どもが「運動やスポーツをすることが好きだ。」と感じるようになってほしい。</p>
家庭・地域連携	B	<p>「保護者や地域の声に耳を傾け、よりよい学校づくりに努めている。」「地域と連携・協力した教育をしている。」どちらも肯定的回答が昨年より減少した。「ふるさと新庄学」やボランティア活動など学校は地域の方とともに多くの教育活動を行っているため、今後は学校からの発信を密に行うことで理解を求めたい。</p>	家庭・地域連携	B	<p>新庄村の教育は地域の方が大いに支えてくださっている。子ども達をみんなで育てようという機運がある。地域との連携はよいと感じている。</p> <p>村内TV放送を見て、学校の様子を知ることができている。自分は参観していなくても様子がよくわかるので、これからは番組の編集方法や学校からの文字放送の提案などによって、より見やすいものになることを期待している。</p>